

令和4年1月16日 日教上人御正当会式 奉修 併修 大僧正日誠上人御壺周忌法要



奉修御導師：遠妙寺御住職 木村日覚導師 お迎え



当山住職室にて 奉修御導師 木村日覚導師

招待教務師 光隆寺御住職 亀井日魁導師

前段 10:00～11:00 参詣「都内近郊末寺・当山ご信者」



出座御教務さんご昇堂

奉修御導師ご昇堂



浜田日重導師 亀井日魁導師

木村日覚導師

蓑田日解導師 小西清宣講師



本堂内、間隔をあけ人数を制限しての参詣



奉修御導師の御法門

当山教務方



奉修御導師退堂

参詣者入れ替えのご案内

日誠上人御一周忌法要



佛立第二十四世講有小山日誠上人ご祭壇



小山家の皆様

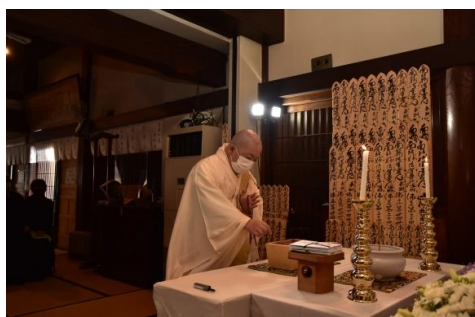


日教上人報恩塔婆言上・居焼香

祭壇にて焼香



当山住職 日秀導師



副住職 清達化主



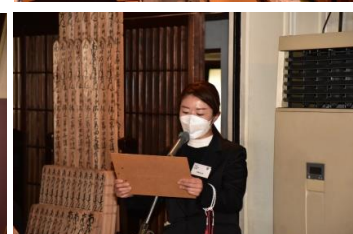
小山喜三子奥様



小山家家族・当山事務局長 祭壇にて焼香



小山家あいさつ 法要参詣の御礼をする当山住職とご家族の皆様
御会式ご奉公者の皆様



後段 11:20～12:25 参詣「招待寺院・東北末寺・当山ご信者」



奉修御導師の昇堂



日教上人報恩塔婆言上・居焼香



招待寺院の参詣者の皆さん



奉修御導師の祭壇にて焼香



奉修御導師の御法門



小山家あいさつ



法要参詣の御礼をする当山住職とご家族の皆様



奉修御導師・出座御教務ご退堂



奉修の御礼をする当山御住職

御墓所参詣



日教上人御墓所



御墓所への行道



御墓所にてお看経



日覚導師焼香



日魁導師焼香



日誠上人御墓所にてお看経



日秀導師焼香



遺弟 小西清宣師焼香



喜三子奥様焼香



家族の焼香



佛立第24世講有・清雄寺第21世住職
大僧正 日誠上人御略歴

1931	昭6	0歳	3月8日、佛立教務3代目の父・清雄寺第20世住職・小山清臣師（のちの第16世講有日幹上人）と母・イト様の長男として、東京市本所区（現東京都墨田区）にてご誕生。幼名・哲朗。
1944	昭19	13歳	旧制府立3中入学。10月13日、清雄寺にて父・日幹上人を師として得度。僧名・清松。
1945	昭20	14歳	3月10日、戦災により全てを焼失。師父・日幹上人と共に、ご本尊・御尊像を猛火の中、ご遷座。8月15日、終戦。
1953	昭28	22歳	慶応義塾大学をご卒業。4月、佛立教院専門科にご入学。
1954	昭29	23歳	3月、佛立教院専門科をご卒業。5月、長松日峰上人の三女・喜三子様とご結婚。10月、二等講師に補任。
1956	昭31	25歳	開講百年正當の年に当たって『日願聖人全集』刊行の議が起こり、編集部に就任。この後、平成16年に第35巻、その後も続巻を出版するまでの50年余り、全集発刊に尽くされ、最後は同刊行会の総裁として完了された。
1967	昭42	36歳	日幹上人が第16世講有に推戴され、昭和54年までの3期12年間お勤めになる。その間清雄寺副住職としてお留守を預かる。
1982	昭57	51歳	10月、日幹上人より清雄寺の法灯を相續。第21世住職にご就任。
1987	昭62	56歳	開導聖人百回御遠諱開幕。日誠上人は奉議局長として活躍。第五支庁別修法要を両国国技館で開催。宗門では、奉議歌「いのち」を作詞・なかにし礼、作曲・芥川也す志、発表会指揮・外山雄三の各氏に依頼。この曲は芥川先生の遺作となり、NHKでも放送された。
1989	平成	58歳	本山にて開導百回御遠諱大法要。本部長としてご奉公。
1993	平5	62歳	3月24日、師父・日幹上人ご遷化。法寿95歳。
1994	平6	63歳	10月、宗務総長にご就任。2期6年間ご奉公される。第21世日動上人・第22世日慶上人・第23世日丞上人と三代の御講有にお仕えになる。
2004	平16	73歳	第176回宗会で次期講有に推戴され、7月2日、遺囑伝承の儀をもって第24世講有、本山有清寺第65世住職にご就任。
2005	平17	74歳	全宗門に「良いお看経」を提唱され、自ら本山において範を示される。6月、ブラジルご巡教。
2006	平18	75歳	開講150年ご正當の年。本山で毎月1日に一万遍口唱会を開始される。ハワイ別院・台湾観会場ご巡教。
2007	平19	76歳	本山高祖手自開眼ご尊像ご修復。大屋根・正門・外塙の屋根書き替え。
2008	平20	77歳	【妙講一座】ご制定130年に当たり、その意義を宗内に示される。3月、ブラジル開教100年記念法要ご奉修のため、リンス・大宜寺へ。5月、本山草創700年記念大法要ご奉修。
2009	平21	78歳	第2世講有日願上人百回御遠諱を記念し、本山教務会で『年間御法門集』を刊行、全国教務諸師に配布。また『有清寺全書』刊行を発願され、本山教務会と共に編集を開始される。
2010	平22	79歳	開講200年に向かい、宗内に「佛立信加」を提唱される。
2011	平23	80歳	5月3日～5日、佛立第四世講有日教上人百回御遠諱法要奉修。教務員増加・班長育成・正宗徒増加を発令される。台湾佛立寺・国内18か寺をご巡教。東日本大震災被災地の慰霊と激励のため6か寺助行。
2012	平24	81歳	全国法要式の統一を指示される。6月、新佛立会館（宗務本庁）落成式。7月2日、講有2期目を満了。第25世講有山内日開上人に遺囑伝承せられ、清雄寺にご帰山。
2015	平27	84歳	10月、得度70年祝賀会。
2017	平29	86歳	9月23日、この年末をもって清雄寺住職を辞し、後を小山日秀導師に託すことをご表明。ご得度以来73年、住職ご在位35年。12月31日、除夜法要にて住職退任言上式、元旦会にて日秀導師住職就任言上式を執行。
2018	平30	87歳	1月14日、教尊会に併修し、講有日良上人奉修により住職継承式を挙行。宗門では最高顧問、教学審議委員、日願聖人全集刊行会、御真書等保存刊行会顧問、等で活躍を続けられる。
2021	令和	90歳	1月30日、午前9時42分ご遷化。法寿90歳、法臘77年。

御法門のしおり

令和四年一月十六日

清雄寺

佛立第四世講有
関東開発教導

日教上人御正當会式

併修

佛立第二十四世講有・清雄寺第二十一世住職
大僧正 日誠上人御志周忌法要

佛立開導日願聖人御教歌

有難や 死んで寂光 いきて娑婆

生々世々に 御法ひろめむ

（二帖抄拝見） 扇全七巻「三四頁」

遠妙寺御住職 木村日覚導師

☆大意 佛立信者は生々世々、菩薩の道を行じ、御題目をお弘めするお教化を心がけますと、この世も幸せに過ごし、死しては寂光参拝できるとお示しの御教歌

☆お添え書き御指南 「清風あまり有りがたさに」……開導日願聖人は何があるがたいと仰せなのか？

☆お祖師さま「人界示同の尊形」……お祖師さまは寂光から人間界に來られた方
「神魂は寂光カラダハ娑婆 神ヒハ十界 カラダハ凡夫肉身人界生死一轉 不生不滅ノ無作 三身蓮華仏也」

☆葬儀等で読まれるお祖師さまの御妙判「当体義抄」……信者の即身成仏を保証
「無作三身、本門寿量の当体蓮華仏といふは日蓮が弟子檀那等の中の事也」

☆条件「ただし各々の信心に依べく候」

1 「謗法なし」……正直に方便の教えを捨て法華經の御題目のみ信する

2 「口唱」……上行所伝の御題目を「良い御看経」にてお唱え

一、御本尊を見つめ

一、ご弘通を第一にいのり

一、一遍でも多く

一、姿勢を正し

一、大きな声ではつきりと上行所伝の御題目をお唱えする

3 「生々世々の菩薩行の覚悟」

「願わくは生々世々菩薩の道を行じ、無辺の衆生を度して永く退転なからんことをおもふものなり」

☆御指南

「五字の中に生れて五字の中に死す 生々世々の菩薩行也と悦ぶべき也」

（本門佛立肝要抄） 扇全七巻「一九三頁」

☆十六世日幹上人ご夫妻のもと、佛立教務のご家庭に誕生。清雄寺及び門末寺院のリーダーとして、また宗門の総導師、二十四世講有上人としてあらゆるご奉公を、身をなげうってなされた小山日誠上人

○ご遷化のお姿を拝し 御住職・小山日秀導師

○「下種寂光」を身に顕された方。二陣三陣としてご奉公させていただく事が肝心。